

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="https://www.ferrotec.co.jp/">https://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード

### ・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

### 年間IRカレンダー



# Ferro Tec

株式会社 フェローテックホールディングス

〒103-0027

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階

TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848

URL <https://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

# 第42期 第2四半期決算報告

2021年4月1日～2021年9月30日

証券コード：6890



# Ferro Tec

株式会社 フェローテックホールディングス

## 株主の皆さまへ



代表取締役社長  
グループCEO  
**賀 賢漢**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、影響を受けられました皆さまにお見舞い申し上げます。ここに第42期中間決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社は、本年5月に新中期経営計画(22/3期から24/3期まで)を公表いたしました。(当社ホームページに掲載中)

「事業成長」「財務強化」「品質強化」「人材強化」の4つを掲げ、最終年度目標として、売上高1,500億円、営業利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益150億円、ROE15%、ROIC8%、自己資本比率40%超をKPIとして設定しております。

本年の中間決算は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、前年を上回る実績となり、幸先の良いスタートがきれたと思っております。

年初からエレクトロニクス産業では、半導体など電子部品の需給がひっ迫しており、半導体不足による影響が各種産業で起きているとの報道がなされています。

当社グループでは、お客様からの需要にお応えするために当社グループの品質理念である「品質を第一に考え、顧客満足向上を追求」を掲げ、しっかりとした供給体制と今後の拡張を計画しております。

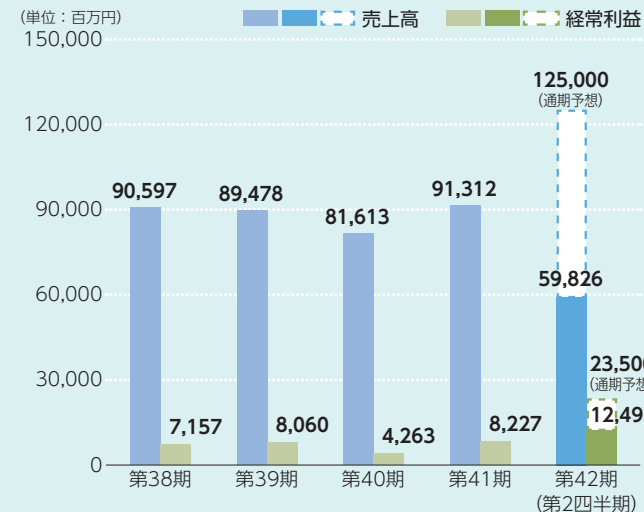
当社グループの経営の基本方針に基づき、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

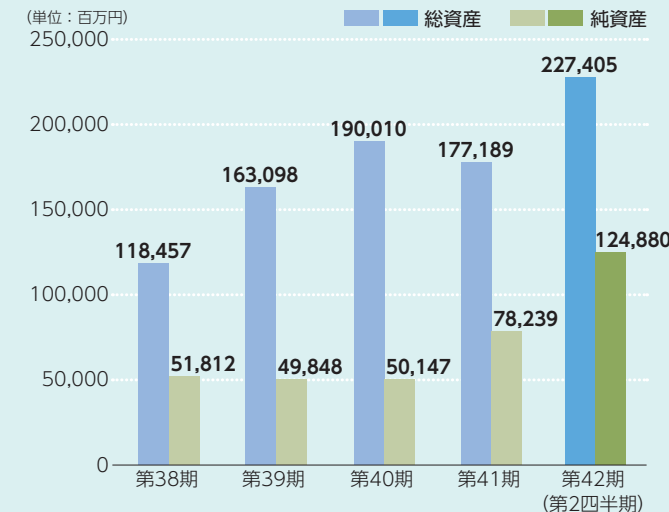
2021年12月吉日

## 財務ハイライト

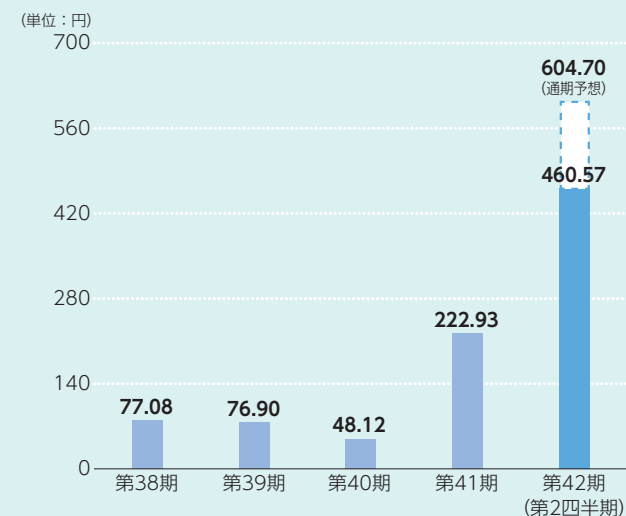
### 売上高／経常利益



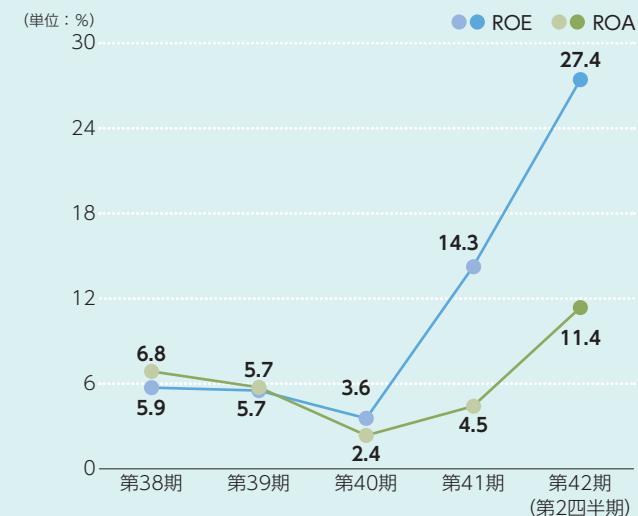
### 総資産／純資産



### 1株当たり当期(四半期)純利益



### ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)



※第42期については、通期業績予想数値をベースにしています。

## 2022年3月期の連結売上高・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益は中計目標を1年前倒しで達成の見通し

(中計での2023年3月期、2024年3月期の経常利益は非開示)

半導体製造装置市場の設備投資環境が良好、且つ半導体メーカーの生産稼働率が高水準で推移していることから、当社の2022年3月期の業績(11/12計画)は、前年比で売上高36.9%増、営業利益133.4%増の見通し。主力の2セグメント別の前年比計画(売上)は、半導体等装置関連事業が25.9%増の見通し、電子デバイス事業が51.1%増の見通し。

主な市場背景

### マテリアル製品(半導体等装置関連)

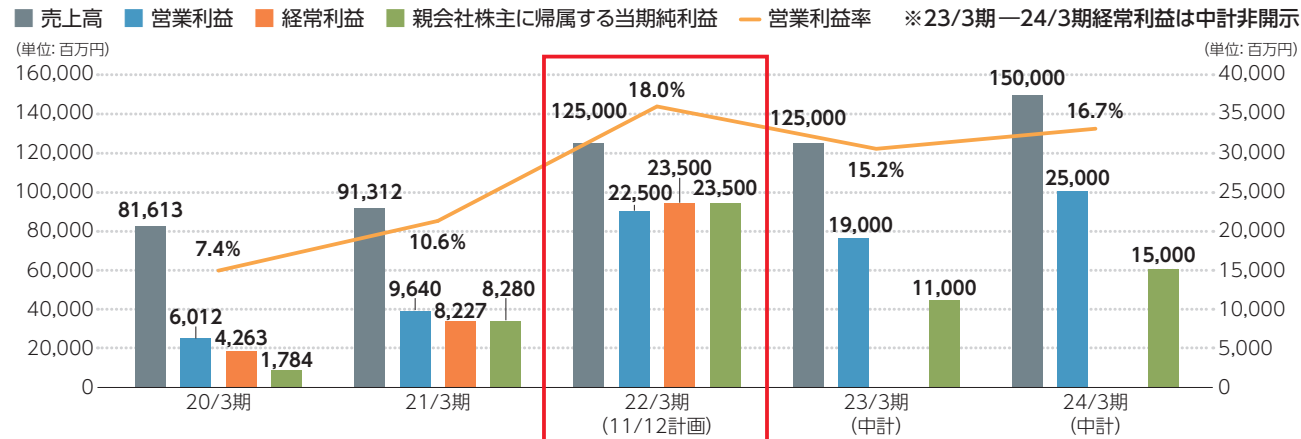
- 当社主力の半導体製造装置向け治具・消耗材のマテリアル製品(石英・シリコン・セラミックス・CVD-SiC)2022年3月期連結売上高(計画)は、前年比で38.3%増の見通し
- 市場の関連指標となる「WFE市場※」の前年比成長率が高水準(某証券会社予想:2020年 +17%、2021年 +36%)、且つスマホ、PC、自動車、データセンター向けに使用される半導体製造を担う半導体メーカー各社の生産稼働率が高水準にある

※WFE市場: WAFER FAB EQUIPMENT (WFE)は半導体製造装置前工程市場を指す

### サーモモジュール(電子デバイス)

- 当社主力のサーモモジュール2022年3月期連結売上高(計画)は、前年比で31.4%増の見通し
- 前期から引き続き、5G通信基地局向け機器の温調用途、コロナ禍における医療関連機器・PCR検査機などの温調用途、および半導体製造プロセスにおける温調用途などの需要が堅調に推移

## 2021年3月期～2024年3月期の連結業績推移



昨今の世界的な半導体需要の高まりに合わせ、特殊セラミックスの需要も高まっており、供給能力を向上させるため、山島工業団地内の当社開発センター敷地内に第2工場の建設を決定しました。製造工程の自動化による、製品品質の安定と省力化に取り組むとともに旺盛な半導体需要の増加に対応し、お客様の期待に応えるべく、引き続き研究開発投資・設備投資を行ってまいります。



外観完成予想図

## 当社セラミックス製品の特色

当社は、高純度ファインセラミックスと機械加工のできるマシナブルセラミックスを各種ラインアップしており、主に半導体製造装置および部品の関連メーカーに採用されています。ファインセラミックスはお客様の厳しい仕様を満たす高機能性を有しており、マシナブルセラミックスは素材製造だけでなく機械加工をワンストップで提供し短納期での納品を実現しています。最近では、医療、検査、分析機器などの成長分野で当社セラミックスが採用されており、非半導体分野での需要拡大も見込まれます。



エントランス完成予想図

## 建設の概要

建設場所	石川県白山市向島町1101番地
敷地面積	9,002㎡
延床面積	5,350㎡(予定)
投資額	40億円(予定)
着工	2021年11月(予定)
操業開始	2022年10月(予定)

# パワー半導体基板の事業規模拡大へ

## 自動車向けなどのAMB基板も投入

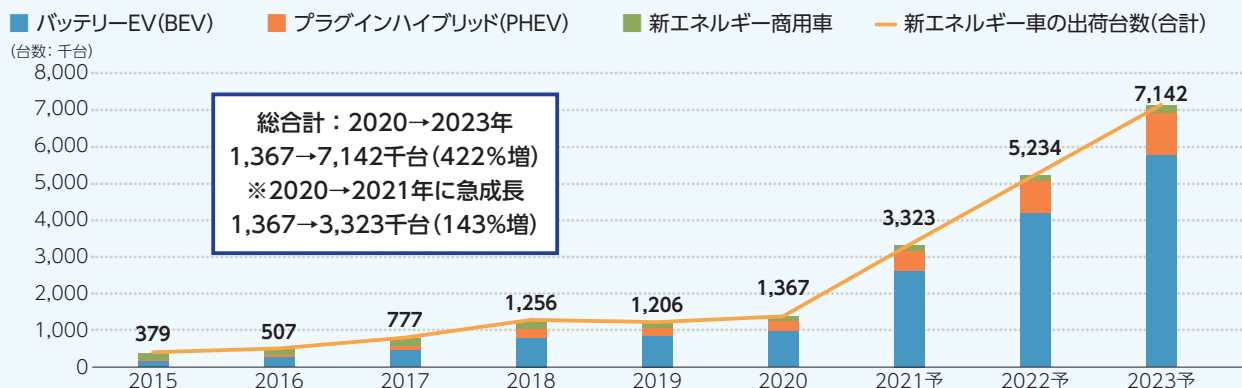
当社では、パワーデバイス製品向けに放熱用絶縁基板である、パワー半導体基板を製造しており、アルミナセラミックス材質で主に産業機器・家電インバーター向けに使用されるDCB基板、窒化ケイ素・窒化アルミニウム材質で主に車載や電車などのハイパワー用途で使用されるAMB基板の増産体制構築に取り組んでいます。

中国における新エネルギー車の急成長が予想される中、江蘇省東台にあるパワー半導体基板工場の月産能力は2021年内に、DCB基板はこれまでの60万枚から100万枚へ、AMB基板は10万枚から20万枚へと見通しです。

また、今後新たにアルミナセラミックス材質にメタライズを施した、光通信やパワーLED向けなどに使用される高耐熱・高強度のDPC基板の量産も開始します。

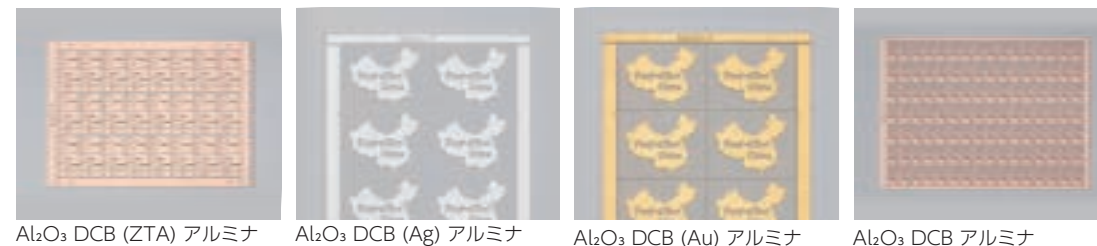


● 中国で新エネルギー車の急成長がパワー半導体基板に好影響 ※出典：21年10月証券会社のデータを基に当社作成

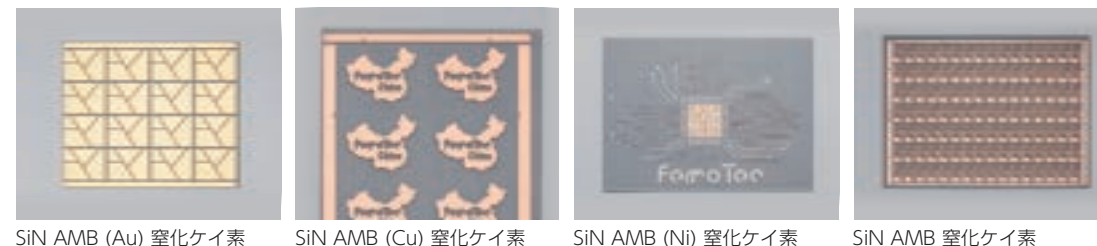


## <車載用途の増加に伴いAMB基板需要が拡大、2021年度ではDPC基板も投入>

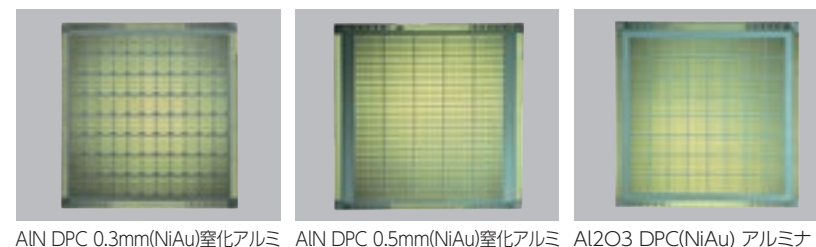
### DCB基板 (Direct Copper Bonding)



### AMB基板 (Active Metal Brazing)



### DPC基板 (Direct Plated Copper)



## <パワー半導体研究院の設置>

世界的な脱炭素社会実現へ向けたトレンドも後押しとなってパワーデバイスの需要が益々拡大する中、デバイスの小型化と高電圧化による熱密度の制御と、高絶縁性のための材料開発がさらに重要になってきています。

当「パワー半導体研究院」では、既存製品である絶縁・放熱基板の更なる先進的な技術への取り組み強化、パワー半導体パッケージング技術・材料の特性評価などを含めた解析技術の研究開発を進めてまいります。

### 建設の概要

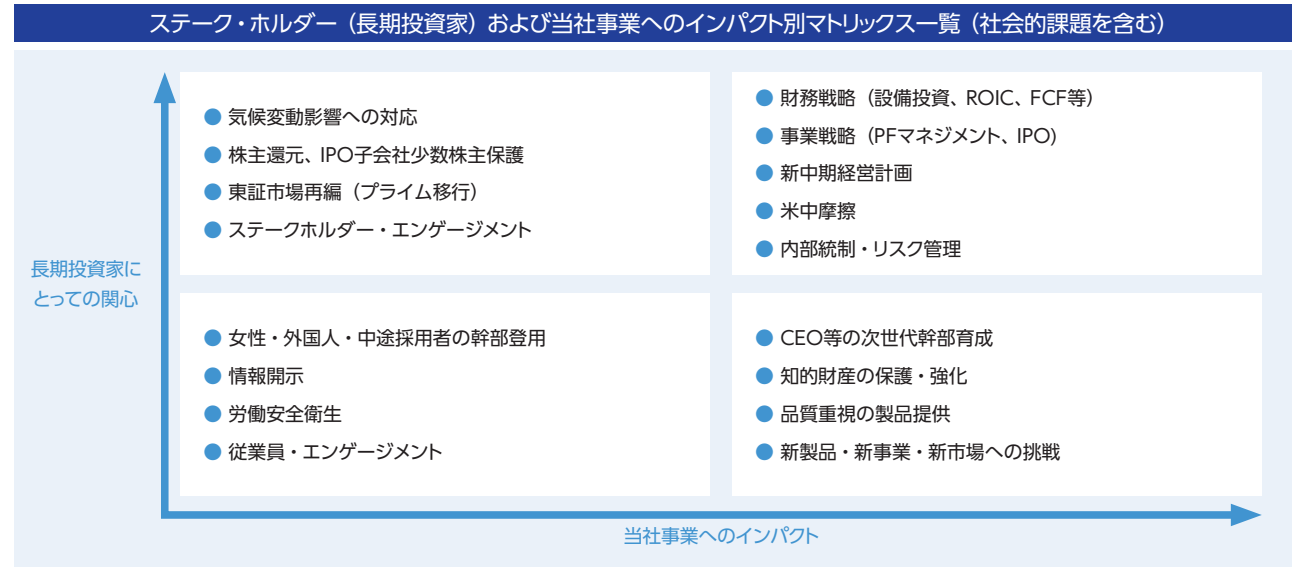
名称	江蘇富樂華功率半導体研究院
所在地	中華人民共和国江蘇省東台市城東新区鴻達路
代表者	賀賢漢
事業内容	パワーデバイス材料および部品、パワーデバイス基板、熱電材料、セラミックス基板、電子電力ユニットの研究、開発、製造、販売

# SDGs (サステナブル) 経営への取り組み

企業理念に基づき、昨今世界的なトレンドとなっている「SDGs (持続可能な開発目標)」を前提に、当社としてもESG (環境・社会・ガバナンス) の取り組みを強化していきます。

企業理念		
顧客に満足を	地球にやさしさを	社会に夢と活力を
顧客のサステナビリティ経営の理念、社会貢献の方針に共鳴し、当社製品・サービスを通じてその達成の一翼を担う	地球環境への配慮を前提とした活動を積極的に推進し、当社製品を通じて地球環境問題解決に向けた貢献を図る	当社のコア技術を活用したものづくりの分野で社会に貢献し、顧客・株主・社員・取引先・地域社会など、あらゆるステークホルダーに信頼される成長企業を目指す

サステナビリティ基本方針
フェローテックグループは、「顧客に満足を、地球にやさしさを、社会に夢と活力を」を企業理念に、国際社会との調和を図りながら、生活に貢献し、高品質かつコスト競争力のある革新的な製品やサービスの提供を通じて、社会貢献を果たしながら成長する楽しさを持つ企業を目指しています。これを実現するために私たちは、コア技術を活用した環境にやさしいモノづくりや素材・製品の開発により地球環境問題の解決に貢献して行くとともに、適正な企業統治の下、社会から信頼される企業として、フェローテックらしい形で社会の課題解決と持続的発展に貢献していきます。取引先においても、この方針を支持し、それに基づいて行動することを要請します。



## 当社が特定するSDGsのマテリアリティ(重要課題)

項目	マテリアリティ	重点テーマ	具体的な取り組み (取組予定、目標含む)	SDGsへの取組
E 環境	環境汚染に配慮し、温室効果ガス排出低減へ貢献	製品開発・供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワー半導体用絶縁放熱基板(DCB、AMB、DPC)の開発や市場への普及による消費電力削減への貢献</li> <li>● 再生ウエーハ事業の推進によるダミーウエーハのリサイクル化の進展に伴うCO<sub>2</sub>削減への貢献</li> </ul>	
		生産技術マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知能化・自動化・デジタル化の推進(中国子会社)での生産効率の向上による省エネ・省資源への貢献</li> <li>● ITシステム強化 (ERP、MES、QMS、CRM等)</li> <li>● 倉庫の自動化※2022年迄に中国子会社の工場の倉庫の殆どを自動化予定</li> </ul>	
		品質マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「品質は命」とした品質管理強化の推進による従業員の意識改革(クレーム率を毎年前年比50%削減)</li> <li>● 意識改革の一環として、従業員に対しての品質アンケートの実施 (中国子会社)</li> </ul>	
		環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場のPVパネル設置 (千葉、中国子会社)</li> <li>● 工場照明のLED化、排水・排熱再利用 (中国子会社)</li> <li>● 排水・排気のモニタリングモニター設置 (見える化)</li> <li>● ISO14001に準じた産廃、物流資材の削減 (千葉、中国子会社)</li> <li>● 環境省「エコアクション21」に準じたCO<sub>2</sub>削減、工業廃水量削減・再利用、化学物質管理の遵守(石川)</li> <li>● 脱炭素計画の策定 (ゼロエミッション化)</li> </ul>	
		調達マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーン調達推進委員会 (当社内に設置) の活動推進による当社のサプライチェーンのグリーン調達管理強化 (現状、未稼働)</li> </ul>	
S 社会	コア技術を活用し、全ての人の健康維持・増進に貢献	製品開発・供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PCRのコア・デバイス製品の供給 (サーモモジュール) によるCOVID-19の感染拡大防止への貢献</li> <li>● 磁性流体ピーズを使った体外診断薬の開発による医療・健康分野に関する貢献 (開発中)</li> </ul>	
		製品開発・供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マテリアル製品、シリコンウエーハ、パワー半導体用絶縁放熱基板、サーモモジュールなどを通じ、IoT、AIなどを活用したデジタルインフラ整備に貢献+EVや自動運転などの車の技術革新への寄与</li> <li>● IP・実用新案の申請数の目標設定、管理&amp;表彰</li> <li>● 中国の大学 (浙江、復旦、上海理工、西北、上海財形等) との共通開発テーマ設定による技術開発</li> <li>● 研究院の新設 (パワーデバイス、ウエーハ)</li> </ul>	
		外部連携、若手の積極登用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学、研究院への積極支援および連携強化による将来の幹部候補生等の発掘等、優秀な人材供給ルートの構築 (石川、中国子会社)</li> <li>● 若手の幹部への積極登用による社内の活性化、組織の新陳代謝 (全社)</li> <li>● オペレーター人材の採用者の質の向上 (専門学校、夜間大学卒の積極採用)</li> </ul>	
		従業員雇用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員持ち株会の設立と従業員インセンティブの付与による優秀な社員のリテンション強化(中国子会社)</li> <li>● “Pay for Performance” (能力主義) の企業文化の醸成による社内の活性化</li> <li>● 工場の安全管理体制の強化 (全社)</li> <li>● 工場の福利厚生(食事、宿舍)等の改善 (中国子会社)</li> <li>● 外部講師を招聘した社内勉強会の積極的な開催による従業員のキャリアパス支援 (中国子会社)</li> </ul>	
G ガバナンス	コンプライアンスの遵守とリスクマネジメントの強化	外部連携、若手の積極登用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学、研究院への積極支援および連携強化による将来の幹部候補生等の発掘等、優秀な人材供給ルートの構築 (石川、中国子会社)</li> <li>● 若手の幹部への積極登用による社内の活性化、組織の新陳代謝 (全社)</li> <li>● オペレーター人材の採用者の質の向上 (専門学校、夜間大学卒の積極採用)</li> </ul>	
		従業員雇用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員持ち株会の設立と従業員インセンティブの付与による優秀な社員のリテンション強化(中国子会社)</li> <li>● “Pay for Performance” (能力主義) の企業文化の醸成による社内の活性化</li> <li>● 工場の安全管理体制の強化 (全社)</li> <li>● 工場の福利厚生(食事、宿舍)等の改善 (中国子会社)</li> <li>● 外部講師を招聘した社内勉強会の積極的な開催による従業員のキャリアパス支援 (中国子会社)</li> </ul>	
G ガバナンス	ステークホルダーへの積極的開示	コンプラ、リスク管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社のリスク管理委員会によるグループ会社からの各種リスク情報の集約 (情報の一元化)</li> <li>● 内部通報窓口の周知徹底、BCP対応強化</li> </ul>	
		情報開示体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東証基準だけでなく、ステークホルダーへの影響も鑑みた積極的な開示 (PR情報含む)</li> <li>● 社内開示プロセス、ルールの規程化</li> </ul>	

## コーポレートガバナンスの取り組み状況

当社は、企業価値を高め、株主、顧客、取引先、地域社会などステークホルダーに信頼され支持される企業となるべく、経営の健全性を重視し、併せて経営環境の急激な変化にも迅速かつ的確に対応できる経営体制を確立することが重要であると考えております。

No	取締役氏名 (敬称略)	区分	① 企業経営・ 業界知見	② モノづくり (生産・品質)	③ 法務・リスク マネジメント	④ 技術・ 研究開発	⑤ 財務会計・ 資本市場 との対話	⑥ 営業・ マーケ ティング	⑦ ESG・ サステナ ビリティ	⑧ グローバル 経験
1	山村 章	取締役	●	●		●				●
2	賀 賢漢	取締役	●	●			●	●		●
3	山村 丈	取締役	●		●				●	●
4	若木 啓男	取締役	●				●		●	
5	鈴木 孝則	取締役	●				●			●
6	宮永 英治	取締役	●					●		●
7	柳澤 邦昭	社外取締役	●	●		●				●
8	岡田 達雄	社外取締役	●					●	●	●
9	下岡 郁	社外取締役			●		●		●	
10	樋口 隆昌	社外監査役	●		●				●	●
11	藤本 豪	社外監査役			●				●	●
12	吉田 勝	監査役			●		●			●
該当者数(人)/全体数(人)			9/12	3/12	5/12	2/12	5/12	3/12	6/12	10/12
同上(%)			75%	25%	41.7%	16.7%	41.7%	25%	50%	83.3%

※一つの項目に複数の必要な素養・経験がある場合はいずれか1つに該当した場合、「貢献できる」(●)とする。

独立社外取締役

3人 

外国人・女性の取締役

2人 

## 「Paralym Art®」とオフィシャルパートナー契約を締結

当社は、一般社団法人障がい者自立支援機構とオフィシャルパートナー契約を締結し、2021年9月より、障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」(パラリンアート)にオフィシャルパートナーとして協賛することとなりました。

パラリンアートとは、「障がい者がアートで夢を叶える世界を作る」ために、一般社団法人障がい者自立支援推進機構が主体となり、障がい者の社会参加と経済的自立を推進する取り組みです。

障がい者アーティストとひとつのチームになって行動し、社会保障費に依存せず民間企業・個人の継続的な協力で支援を行います。

アーティストが描いた絵画やデザインを多くの人に発信し、アーティストに利用に応じた報酬をお渡しすることで、障がい者の自立支援を行います。



詳しくは▼  
<https://paralymart.or.jp/association/>

当社は、企業理念として「顧客に満足を、地球にやさしさを、社会に夢と活力を」を掲げ、この企業理念にもとづき、ESG活動を推進しております。今般、障がい者の自立支援活動に民間レベルで取り組むパラリンアートの活動に賛同し、同活動の普及促進を図ることにより、障がい者に「夢と活力」を持ってもらう一助となることを目的にパラリンアートとパートナー契約を締結しました。



### 表紙のご紹介

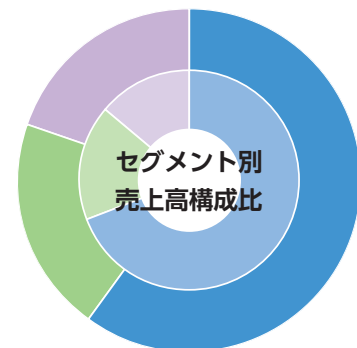
作品名: 紅富士  
作家: cocoa floatさん  
作品介绍: 紅富士とラベンダー畑を描きました。写真をヒントに、空模様や色合いなどを変えた空想の風景です。ラベンダーが好きで、一本一本丁寧に描きました。

cocoa floatさんのプロフィールや作品はこちらからご覧ください。

<https://paralymart.or.jp/artists/details/?id=5d99d3c6ca056>



## セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「半導体等装置関連事業」「電子デバイス事業」の2事業を報告セグメントとしております。

	第41期 第2四半期 (内周)	第42期 第2四半期 (外周)
半導体等装置関連事業	69.2%	60.0%
電子デバイス事業	17.1%	20.4%
その他	13.7%	19.6%

### 半導体等装置関連事業

世界的なりもネットワークの拡大に伴いスマートフォンやパソコン、データサーバー等の需要増加により、電子部品の需給は依然ひっ迫しており、半導体不足から各種産業への影響も出始めております。当社グループが供給する半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品(石英製品・セラミックス製品・シリコンパーツ等)は、デバイスメーカーの稼働率が高水準であることや半導体プロセスの微細化の進行などから、当社グループの顧客である半導体製造装置メーカーからの受注は好調に推移し、売上は前年度を上回りました。

売上高 **358**億円 営業利益 **71**億円



セラミックス製品



真空シール

### 電子デバイス事業

主力のサーモモジュールは、5G用の移動通信システム機器向けやPCR等の医療検査装置向けは安定した販売を継続しております。美容家電を含む民生分野向け、半導体装置向けは計画を上回る水準で推移致しました。パワー半導体基板は、IGBT向けDCB基板が需要回復により増産傾向となり、車載向けのAMB基板は、量産が進み伸長致しました。当該製品は前年比で倍増の売上となり、需要が強く今後の成長が見込めるため製造ラインの増設を計画しております。

売上高 **122**億円 営業利益 **30**億円



磁性流体



サーモモジュール

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。  
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

## 連結財務諸表(要約)

決算情報についての最新情報、詳細につきましては当社のIRサイトをご覧ください。  
<https://www.ferrotec.co.jp/ir/>



### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年9月30日現在	前期 2021年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	116,254	88,077
固定資産	111,151	89,112
有形固定資産	66,695	53,043
無形固定資産	1,796	1,814
投資その他の資産	42,659	34,254
資産合計	227,405	177,189
<b>負債の部</b>		
流動負債	65,190	58,890
固定負債	37,335	40,059
負債合計	102,525	98,949
<b>純資産の部</b>		
株主資本	89,796	63,408
その他の包括利益累計額	8,206	3,684
新株予約権	53	81
非支配株主持分	26,823	11,064
純資産合計	124,880	78,239
負債純資産合計	227,405	177,189

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	59,826	41,595
売上原価	37,587	27,496
売上総利益	22,238	14,098
販売費及び一般管理費	11,505	10,185
営業利益	10,733	3,913
営業外収益	2,283	1,053
営業外費用	523	2,141
経常利益	12,493	2,824
特別利益	9,339	-
特別損失	1,162	1,079
税金等調整前四半期純利益	20,670	1,745
法人税等	3,056	1,556
四半期純利益	17,614	188
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,268	70

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,369	5,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,226	△9,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,274	15,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,588	△265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,007	11,171
現金及び現金同等物の期首残高	30,202	23,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,210	34,880

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
四半期純利益	17,614	188
その他の包括利益	5,205	△358
その他有価証券評価差額金	174	113
為替換算調整勘定	3,609	△471
退職給付に係る調整額	9	11
持分法適用会社に対する持分相当額	1,411	△12
四半期包括利益	22,819	△169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,483	△239
非支配株主に係る四半期包括利益	1,336	70

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式情報 / 会社情報 (2021年9月30日現在)

## 株式の状況

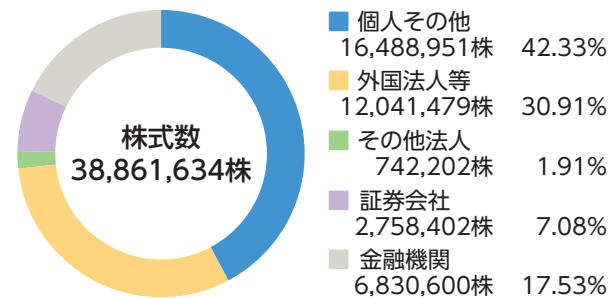
発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	38,955,486株
株主数	26,658名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,402,055	3.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,342,400	3.44
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	981,700	2.52
上田八木短資株式会社	963,500	2.47
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	888,099	2.27
山村 章	853,200	2.19
MSCO CUSTOMER SECURITIES	685,500	1.75
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	580,000	1.48
日本証券金融株式会社	554,900	1.42
SMBC日興証券株式会社	510,100	1.30

(注) 1. 当社は、自己株式93,852株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 所有者別株式分布状況



(注) 1. 自己株式93,852株は上記の円グラフ中の株式数に含まれておりません。  
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

商号	株式会社フェローテックホールディングス (英文表記) Ferrotec Holdings Corporation
設立	1980年9月27日
資本金	185億4,695万302円
株式公開	株式会社東京証券取引所 JASDAQ 1996年10月18日(証券コード: 6890)
決算期	3月31日
従業員数	8,412名(連結)

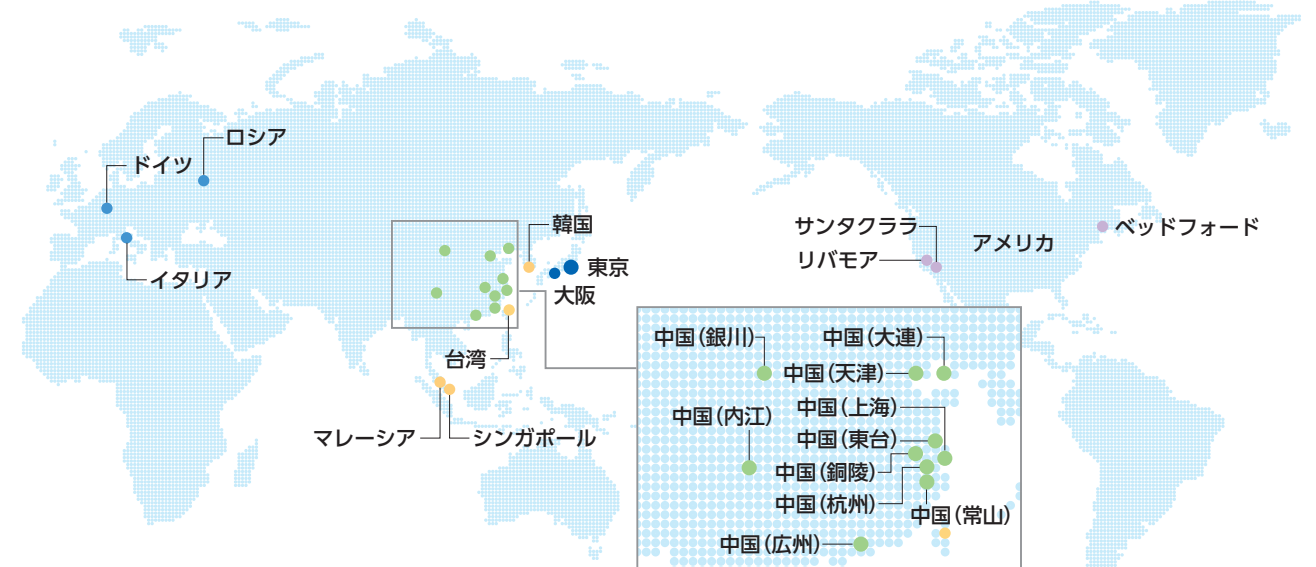
## 所在地

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階
----	---

## 役員

取締役	
代表取締役会長	山村 章
代表取締役社長	賀 賢 漢
代表取締役副社長	山村 丈
取締役	若木 啓男
取締役	鈴木 孝則
取締役	宮永 英治
社外取締役	柳澤 邦昭
社外取締役	岡田 達雄
社外取締役	下岡 郁
監査役	
常勤社外監査役	樋口 隆昌
社外監査役	藤本 豪
監査役	吉田 勝

## グローバルネットワーク



### 欧州

- フランクフルト (ドイツ)
- シュツットガルト (ドイツ)
- モスクワ (ロシア)
- ニジニ・ノヴゴロド (ロシア)
- ミラノ (イタリア)

### アジア

- 杭州
- 上海
- 銀川
- 広州
- 天津
- 内江
- 大連
- 東台
- 銅陵
- 常山
- 新竹 (台湾)
- シンガポール
- クアラルンプール (マレーシア)
- ウィワン (韓国)

### 日本

- 東京 [本社]
- 千葉
- 兵庫
- 石川
- 大阪
- 岡山
- 神奈川
- 山形

### 米国

- ベッドフォード
- リバモア
- サンタクララ

販売拠点 生産拠点